

皮膚のしわやたるみ、薄毛、難治性皮膚潰瘍に対する多血小板血漿療法の説明書

□病態・治療の目的・有効性

- ・PRP は自分自身の血液から得られる血小板を多く含む血漿のことで、いろいろな成長因子が血小板から放出され含まれています。現在、歯科や整形外科の分野では骨移植などに、美容外科の領域では皮膚の再生等に応用されています。
- ・PRP の効果を発揮させたい部位に注入することによって、その部位の細胞増殖を促し、コラーゲンを増やしてシワを改善させたり、毛根に働きかけ育毛効果が期待できる治療法です。
- ・PRP 注入は自費診療となります。

皮膚のしわ、たるみに対して	1回	30,000円
薄毛に対して	1回	120,000円
- ・当院の特色として、PRP の効果をより発揮させるために、フラグミン®とプロタミン®という医薬品を使ってドラッグデリバリーシステムを作成し用いています。
- ・PRP 注入は個人の治癒力を利用しているため、その治療効果に個人差があります。また、治療効果を保証するものではありません。また、症状によっては複数回の治療が必要となる場合があります。
- ・類似の効果を得るための治療として、ヒアルロン酸注射やボトックス注射があります。PRP は自分自身の血小板から作成したものであるため、副作用が見られないというメリットがあります。また、その効果は数か月間持続します

□治療の内容と性格及び注意事項

- ・まず健康状態の確認後、採血をさせていただきます。採血量は使用する PRP の量によって変わります。PRP の量が多い場合には、何回かに分けて作成・凍結保存させていただきます、必要量が出来てから注入します。そのため、PRP の準備と施術のために複数回来院していただく場合があります。
- ・痛みを軽減させるために、注入は細い針で行い、PRP に局所麻酔薬を混ぜていますが、完全な無痛にはなりません。注入時には少し痛みがあります。頭部に打つ場合には、範囲が広がるためブロック注射を併用して行います。
- ・注入直後は腫れていますが、液体成分は徐々に吸収され、数日後にはほぼ打つ前の状態に戻ります。その後、PRP の効果はゆっくりと徐々に現れてきます。個人差はあります

が、少なくとも2週間以上はかかります。(頭部ではもっと時間がかかります。)

- ・当日より、洗顔・化粧・洗髪・シャワーは可能です。当日のみ飲酒・激しい運動は避けてください。
- ・血小板に異常のある方、妊娠中や授乳中の方には施術できません。
- ・皮下出血が出現することがありますが、2~3週間で自然に消えます。
- ・PRPの効果はご本人の体調や持病などによって左右されることがあります。糖尿病の方のPRPは効果が悪いことが報告されています。
- ・PRPの細胞増殖を促進する効果は約1か月程度で消えていきますが、増殖した組織は残ります。そういう点ではPRPによって引き起こされた効果はなくなることはありませんが、時間の経過とともに徐々に加齢も進んでいきますので、効果の実感が永久的に持続することはありません。
- ・治療後の経過には個人差があります。従って、医師がお話することは、おおよその予測とご承知下さい。
- ・ケロイド体質の方はしこりができやすくなることがあります。現在のところ、治療前にケロイド体質の特異体質を検査する方法がないことをご了承下さい。
- ・PRPによる治療は個人の反応の仕方がそれぞれ異なるため、100%の主観的な出来映えを求めないで下さい。
- ・効果的な注射の打ち方は、
育毛目的の場合には最初の3回を2~3週間ごとに、それ以降は1か月に1回程度、改善するまで継続することをお勧めします。改善後は、3~6か月に1回の注射をお勧めします。
しわの改善目的の場合には、改善するまで1か月に1回程度、改善後は3~6か月に1度の注射をお勧めします。
- ・PRPを作成した場合は、投与前にキャンセルされても全額費用が掛かります。

□施術に伴う危険性について

- ・採血は基本的には安全性の高い手技ですが、まれに、止血困難、皮下血腫、神経損傷、血管迷走神経反射などの合併症が起こることがあります。採血で気分が悪くなったことのある方はご申告ください。
- ・アスピリンなど血液凝固を抑制する薬を使用している方は、注入部位に血腫や出血を起こすことがあります。
- ・まれに局所麻酔薬やドラッグデリバリーシステムの成分にアレルギー反応を起こす場合があります。
- ・注入部位に悪性腫瘍がある場合、悪性腫瘍の増殖を促すことがあります。
- ・ごくまれにしこりを形成することがあります。時間経過で改善することもあります。改善しない場合には手術等が必要になる場合があります。

□偶発症発生時の対応

- ・注入部位に内出血が生じた場合には2～3週間で自然に改善していきます。
- ・注入した部位にしこりを形成し、改善しない場合には外科的な治療が必要となる場合があります。
- ・発赤、腫脹、圧痛、および痒みなどが日に日に増強する場合や、1週間以上続く場合は治療が必要になることがあるので、当院に受診してください。

患者さまの具体的希望

同意の撤回

- ・施術を行うことに一旦は同意しても「同意書撤回書」の提出により、いつでも撤回することができます。また、同意を撤回することにより不利益な取扱いを受けることはありません。

皮膚のしわやたるみ、薄毛、難治性皮膚潰瘍に対する多血小板血漿療法同意書

医療法人社団 誠馨会
新東京病院 病院長 殿

私は、PRP 注入療法を受けるにあたり、下記の医師から説明文書に記載されたすべての事項に説明を受け、その内容を十分に理解しました。

また、私はこの施術を受けるかどうか検討するにあたり、そのための時間も十分に与えられました。以上のもとで、自由な意思に基づき、この施術を受けることに同意します。

なお、説明文書原本とこの同意書および同意撤回書を受け取りました。

- 病態・治療の目的・有効性
- 治療の内容と性格及び注意事項
- 施術に伴う危険性について
- 偶発症発生時の対応
- 患者さまの具体的希望
- 施術の同意撤回
- 連絡先

【説明】

説明年月日：平成 年 月 日

説明医師：_____

同席者：_____ 職種：_____

【同意】

同意年月日：平成 年 月 日

同意者（本人）：_____

【代諾者】

代諾者名：_____ 患者さまとの関係：_____

同意書撤回書

医療法人社団 誠馨会
新東京病院 病院長 殿

私は、PRP 注入療法を受けるにあたり、医師から説明を受け、施術へ一旦は同意いたしましたが、このたび同意を撤回いたしたく、「同意書撤回書」を提出します。

【理由（書かなくてもかまいません）】

【ご本人】

同意撤回日：平成 年 月 日

氏名： _____ (自署)

【代諾者】

代諾者名： _____ 患者さまとの関係： _____